



# 墨田区観光振興プラン

新タワーを活かし、住んでよく、訪れてよい、  
国際観光都市すみだをつくる

概要版

平成 20 年 1 月 墨田区



## 観光振興プランの目標

# 「国際観光都市すみだ」をつくる

新タワーを活かし、住んでよく、訪れてよい、  
「国際観光都市すみだ」をつくりまします。

計画期間：2008(平成20)～2015(平成27)年度

前期4年(2008～2011)+後期4年(2012～2015)



## 基本的な考え方

### 観光振興の基本理念

平成16年11月に策定したこれまでの観光振興プランの計画理念である「住んでよく、訪れてよい街」を踏まえ、新たに以下の基本理念を定めます。

**ビジターズ・インダストリー（観光の視点を活かした幅広い産業群）を創出します。**

「ものづくりの街すみだ」のこれまでの蓄積を活かしながら、新タワー建設を起爆剤として、来街者が生み出す多様な需要を地元で確実に受け止め、来街者を地域経済の活性化に多面的に結びつけます。そのために、産業関係者に対する啓発・支援、新規ビジネスの起業促進などを行い、幅広い産業分野において観光の視点を取り入れたビジターズ・インダストリーを創出します。

**愛着と誇りの持てるわが街すみだをつくりまします。**

区民の「愛着と誇りの持てるわが街すみだ」意識を土台に、区民と来街者の双方がともに良い関係（互恵）となる都市づくりをめざします。

**総力を挙げて観光まちづくりに取り組みまします。**

新タワー建設を好機として、住民（個人・企業・団体）と行政が組織横断的に連携しながら、総力を挙げて「国際観光都市すみだをつくる」という共通の目標に向かって進みます。

### 観光都市づくりの視点

#### 国際観光

～グローバルな視点で未来を拓く～

海外からの観光客を視野に入れて、その関心、ニーズ、使い勝手などに配慮し、地域の個性を活かしながら、外国人客を惹きつける「国際観光都市すみだ」をめざします。

#### 街歩き観光

～時速4キロのまちづくり～

街歩き観光の基礎的インフラである歩行者空間の整備、サイクル観光（自転車観光）のしくみづくり、河川を生かした水上交通（観光舟運）など、ゆっくりと地域を歩いて巡る観光の振興に向け、ハード・ソフト両面から整備を進めます。

#### こだわり観光

～「個衆」の時代の観光戦略～

観光に対して、各人がそれぞれ個性的な関心（こだわり）を示す、個衆の時代ともいえる傾向が顕著になっています。墨田区では、来街者の個人的な関心が生み出す新しい観光需要に対応できる観光を推進します。

グローバル「グローバル（地球的）に考え、ローカル（地域的）に行動する」姿勢を表現した造語。

## 観光振興のための課題

観光拠点・資源の魅力が十分に活かされていません  
観光拠点・資源間の回遊性が欠けています  
観光コースやイベントが、来街者のニーズに応えられていません  
情報発信と案内システムが十分ではありません  
観光の担い手や組織が十分に育っていません

## 観光の基本戦略

「観光拠点エリア」とそれをつなぐ「観光軸」の形成によって、「国際観光都市すみだ」にふさわしい新しい観光ネットワークを構築します。すなわち、都市構造の基本的要素の「拠点」と「軸」に着目し、その基盤整備を戦略的、分野横断的に推進することを観光振興の基本戦略とします。

### 観光拠点エリアの形成

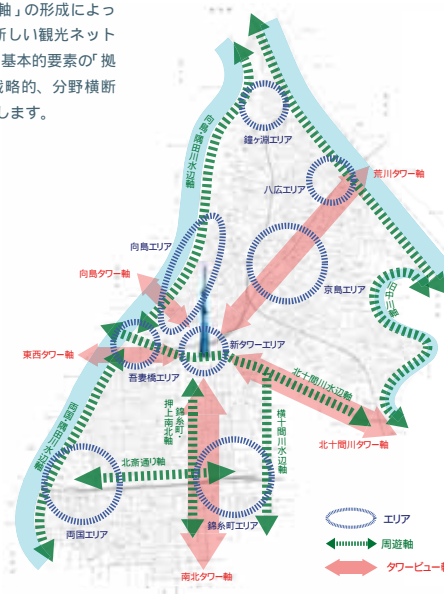
区内における観光資源の分布、交通網の状況、住民の暮らしの広がり、来街者の動き、そして地域の歴史的文化的な特性などを総合的に分析した結果、観光都市づくりを進める対象として、8つの観光拠点エリアを定めます。

### 周遊軸の形成

観光拠点エリア間などの回遊性を高めるために、来街者の動線や今後の交通ネットワークの整備などを勘案して、7つの周遊軸を形成します。

### タワービュー軸の形成

タワーの眺望を楽しめるスポットや通りを「タワービュー軸」とします。タワービュー軸周辺の地域住民と一体となったまちづくりを進めるとともに、昼夜を通して美しいタワーの景観を楽しめるスポットを整備します。



## 観光振興事業 「国際観光都市すみだ」を実現するための取り組みを5本の柱に沿って展開します

### 1. 江戸から未来まで体験できる、多彩な「界限」をつくる

それぞれの観光エリアが持つ特色を生かして、江戸から未来までさまざまな体験を味わえる多彩な「界限」をつくります。

- 1 両国エリア** 江戸以来の伝統文化を世界に発信するまち 「相撲の本場」「握り鮓の発祥」などテーマ性を持った観光キャンペーン、「ちゃんこ」など食の魅力PR、国技館や江戸博と周辺地区の回遊性向上、北斎館（仮称）及び周辺の「江戸風情」のPR、隅田川水辺テラスの活用 など
- 2 錦糸町エリア** 音楽、ショッピングモール、エスニックフードなど、多彩な文化に出会えるターミナルのまち タワービュー通り・スポットをめぐる街歩きの仕掛けづくり、庶民派グルメの街・エスニックタウンPR、ストリートミュージシャン等の紹介、錦糸公園 他におけるイベント開催 など
- 3 タワーエリア** 都市文化が創成され国内外から訪れる人々が交流するまち タワービュー通りおよびタワービュー・ポイントの整備、北十間川親水空間の整備、観光プラザ（仮称）の開設、タワーを日本（東京）のシンボルとして定着させる展開 など
- 4 吾妻橋エリア** 浅草から区内各所へのゲートウェイ、水陸交通の結節するまち 水辺空間をオープンカフェなどに活用、ライトアップなどを行いゲート空間として演出、浅草からタワーに向かう来街者を想定した観光案内機能の強化、台東区（浅草・上野）との連携 など
- 5 向島エリア** タワーと隣接し、江戸から昭和の風情を体感できるまち 見番通りの修繕・景観整備、向島ブランドの開発、人力車の復活、向島の「和スイーツ」のPR、向島の「粋」「技」を活かしたイベント展開、隅田川七福神めぐりの案内性向上 ほか
- 6 京島エリア** 昭和レトロの下町路地空間を随所楽しめる散策のまち 空き店舗・空き家・工場を観光商品として活用、ロケーションボックスの開発、「路地散策マップ」の制作 ほか
- 7 鐘ヶ淵エリア** 梅若伝説に会い、都市防災が体感できるまち 梅若梅まつりの開催、梅若を題材にした「隅田川芸能」の上演、防災まちづくりツアーの実施 ほか
- 8 八広エリア** 川辺の自然の風を満喫できるまち 川風サイクリング・フェスタの開催、変わり自転車体験・BMX（バイシクル・モトクロス）競技のコース設置 ほか

### 2. 多彩な資源を活かし、「物語」のある回遊コースをつくる

#### 1 テーマ・ターゲット別観光コースの設定

江戸文化、職人技、食、相撲など、区内のさまざまな地域資源を活用した、「こだわり」のあるテーマを盛り込み、ターゲットとなる来街者の特性やニーズを反映させた、テーマ・ターゲット別観光コースをつくります。

#### 2 コースを巡る仕掛けづくり

来街者が各コースを心地よく回遊できるように、コースの特性を考慮し、戦略的・計画的に案内所やお休み処、きれいなトイレの整備、テーマ別ガイドブックやマップの作成などの充実をはかります。また、地域の歴史を感じさせる旧町名の活用などを進めます。

### 3. 四季折々の感動に出会える、イベント満載のまちにする

#### 1 四季折々のイベントの開発とパワーアップ

季節感や年中行事に関わりの深い資源が多いので、その特色を發揮し、「花」市等テーマと折々の特色あるイベントを開発します。また、既存のイベントのうち、可能ものについては事業評価システムを導入し、パワーアップをはかります。

#### 2 タワーを活用したイベントの開発

タワーを国内外に広く伝え、「タワーのあるまち」に多くの人々が訪れるようなタワー関連イベントを継続的に開催します。また、四季折々のイベントを、タワーエリアに設置される観光プラザ（仮称）を活用して開催します。

### 4. 来街者を優しく迎える「iのまち」をつくる

#### 1 「iスポット」（観光案内機能）の拡充

来街者が目的地へスムーズに移動するための、iスポット（観光案内機能）を充実させます。

#### 2 観光プラザ（仮称）の整備

タワーエリア内に観光案内の拠点施設「観光プラザ」（仮称）を整備します。

#### 3 情報発信媒体の多様化・マスメディア媒体との提携

ホームページやブログ、コミュニティサイトを活用した情報発信の充実、媒体の多様化をはかります。また、マスメディアと継続的に接触し、定期的なニュースリリースによる情報提供・交換を行い、きめ細かな広報を展開します。

#### 4 フィルムコミッションの推進

映画、テレビドラマなどのロケーション撮影を誘致し、観光資源の発掘や観光情報の発信などを効果的に行うためのフィルム・コミッションを墨田区文化観光協会などを活用して推進します。

#### 5 世界に向けた情報発信

多様な言語によるホームページやマップを充実させるとともに、外国人旅行者が宿泊したり立ち寄り寄る施設や店舗を連携を図ります。また、外国メディアに対する情報発信を強化し、すみだ観光の紹介をしてもらうための働きかけを継続的に進めます。

#### 6 「区民みんなが観光ガイド」の推進

多くの区民が、愛着と誇りをもって来街者を案内できるような仕組みを整えるため、区民が地域について学ぶ機会を積極的に設けます。観光ボランティアガイドを今後も継続的に養成し、ガイドの会の運営を支援します。

#### 7 「iのまち」への参加促進

区内外の多くの人々が、区内のお気に入りの観光スポットの情報や画像などをホームページやブログなどに投稿したり掲示板への書き込みを通じて観光情報を交換できるような仕組みづくり、「すみだ観光」に関する情報交流への参加を促進します。

### 5. 快適な歩行空間と交通ネットワークを整備する

#### 1 快適に歩ける道路・街なみ環境の整備（案内性・安全性）

すみだの観光資源を歩いて存分に楽しめる歩行空間の整備・修繕と観光案内板の整備などを行います。

#### 2 拠点間の効率的な移動（移動性・回遊性）

観光拠点間を効率的にスムーズに移動できるように、公共交通機関のさらなる充実をはかるとともに、交通結節機能の強化により乗換え等の利便性を向上させます。

#### 3 街並みを満喫できる交通手段（利便性・界限性）

街歩きとあわせて、自転車の利用環境充実をはかるとともに、人力車、ペロタクシーなどの新たな交通機関の導入を進めます。

#### 4 水辺からの景観を楽しむ舟運（景観整備・話題性）

「水都すみだ」の再生をめざし、舟運による水上ネットワークの拡充、吾妻橋防災船着場を活用した観光舟運、大横川親水公園の改修やバリアフリー化などに取り組みます。

## 実現のしくみ

### 1. 担い手の役割と人材育成

#### 1 担い手の役割と機能強化

観光振興を担うべき主体がその役割を適切に遂行し、必要に応じて機能強化を図りつつ連携を深めるため、効果的な取組みを進めていきます。

#### 2 担い手の育成

おもてなしの心で来街者を迎える区民を育成するとともに、区民自身が観光事業の担い手になるように、活動支援、起業支援の仕組みの充実をはかります。

### 2. 観光振興に向けた様々な連携

#### 1 ビジターズ・インダストリーの推進 体制

新タワーによる来街者増が区内事業者の収益への推進体制をつくります。

#### 2 企業市民の参画

企業が企業市民意識を高めるとともに、企業の 地域貢献として観光振興への参画を促進するように働きかけを行います。

#### 3 広域連携

外国人旅行者などの宿泊旅行回数や滞在日数の 拡大を目指し、周辺区等との連携を視野に入れて検討を行います。

### 3. ビジット・スミダの推進

観光をめぐる地域間競争の中で力強く躍進するために、タワーを来街者拡大の大きなチャンスと位置づけます。「一度は訪れたいすみだ」「訪れたら何度でも行きたいすみだ」の声が国の内外から響きだすように、来街者を歓迎する「ビジット・スミダ」のシティ・セールス運動に総力を挙げて取り組みます。

**シンボル事業** 初期段階において、優先的かつ分野横断的に実施することで、観光 振興プラン全体をリードするための重点プロジェクトです。

## 1 すみだ観光プロモーション



すみだ観光ボランティアガイドの会

「国際観光都市すみだ」を実現するためには、観光推進のための「マーケティング戦略」を定めることが必要です。それによって、観光に関連するさまざまな活動を「総合力」として発揮できれば、目標達成に向けた着実な成果が期待できます。このマーケティング戦略の一環として展開する広報・伝達を中心とした活動が「すみだ観光プロモーション」です。すみだ観光プロモーションは、墨田区文化観光協会が中心になって実施します。

プロモーションビデオ、各種マップ、ホームページなど、観光プロモーションを進めるためのツール開発  
国内外に向けた観光キャンペーンやタワー建設主体と連携した広報活動の展開  
季節感のあるイベントを中心としたラインナップ充実・地域のアイデアを活かした新規イベント開発支援  
地域の観光特性を活かし、ターゲットのニーズを捉えた観光ツアーの企画

## 2 Hokusai Dori (北斎通り)



北斎通りの江戸風の店構え

北斎通り一帯を、北斎の魅力や多彩な江戸文化を楽しむことができる街、江戸の風情が感じられる品格と賑わいのある街をめざして、地元住民、企業、各種活動団体と行政が協働で街づくりを進めます。北斎通りを、国際的にも認知されるようなすみだのシンボルストリートにします。

墨田区の重要な財産ともいべき北斎の作品を中心としたシンボル施設「墨田区北斎館」(仮称)の建設  
北斎の魅力や多彩な江戸文化を楽しめる賑わいのあるシンボルストリートとしての北斎通りまちづくり

## 3 タワービュー通り



©東武鉄道株式会社・新東京タワー株式会社

タワーの景観を堪能できる「タワービュー」は、墨田区の観光の新しい魅力です。タワービューを活用し、沿道の地域住民と一体となったまちづくりを進めて、タワービュー軸を形成します。そのために、昼・夜を通じて美しいタワー景観を楽しめるスポット整備を進めるとともに、街歩きをしながらタワービューを鑑賞できるよう、新タワーから放射状に伸びる主要道路を「タワービュー通り」として整備します。

歩きながら美しいタワービューを楽しむことができる「タワービュー通り」において、沿道の地域住民と一体となって取り組む、歩行空間整備と沿道の賑わい創出  
交差点の一角など、建物の間から昼・夜を通じて美しいタワービューを楽しむことができるポイントをタワービュー・スポットとして整備  
北十間川タワー軸において水辺の親水空間を憩いの場として整備するなど、水辺のタワービューの活用

## 4 水都すみだ



北十間川水辺空間の整備イメージ

かつて江戸随一の「水の都」と呼ばれたすみだは、隅田川に加えて、数多くの内河川が縦横に流れ、豊かな水辺空間に恵まれています。タワー建設を契機として、これらを存分に活かして、「水都すみだ」の再生をめざします。

タワーエリアに隣接して流れる北十間川周辺における、タワー観光のシンボリックな親水空間としての整備  
北十間川を含む江東内河川を中心とした、観光のための水上ネットワークの整備  
吾妻橋防災船着場を活用した観光舟運、および吾妻橋のゲート性を活用したライトアップ、水辺イベントの開催  
大横川親水公園における園路改修・バリアフリー化、外国語表記の案内板設置等の再整備

## 5 iプロジェクト



すみだ界隈街あるき案内処



すみだ観光案内所(吾妻橋)

来街者を歓迎する気持ちが伝わる「iプロジェクト」を進めます。「i」は一般的には information の意味ですが、ここでは「違い、愛」の意味を付け加え、来街者との出逢いを大事にするまち、住民が地域を愛する「郷土愛」のまちなめざします。

区内の交通要所に観光案内所、簡単な案内機能などをもつ i スポットの整備  
国際基準に沿ったピクトグラム(絵文字)や外国語を併記した案内標識の体系的な整備  
民間の店舗や事業所の協力により、マップ、パンフレットを地元ならではの観光情報とともに提供する「すみだ街あるき案内処」の設置  
タワーエリア内に墨田区の魅力が一目でわかる情報コーナー、下町文化体感コーナー、物販コーナーなどを備えた観光プラザ(仮称)の開設  
区民が来街者への歓迎の気持ちを行動に表すための i のキャンペーンの展開  
i スポットは国際的に認識される「インフォメーション・コーナー」の呼称です。

ふれあい 活力 ゆとり

すみだ

## 編集・発行

墨田区地域振興部新タワー・観光推進担当観光推進課  
東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号 〒130-8640  
電話：03-5608-6500